

## 奥秩父：笛吹川ヌク沢左俣

- ◆日程 2022年5月28日(土)
- ◆メンバー L: HY、SD、OT、NO
- ◆天候 晴れ

MD 駅集合。HY さんの車に拾ってもらおう。

今日は人生2回目の沢登り。昨夜は山と溪谷社編の「ヤマケイ登山学校 沢登り」を読んで臨んだ。多少、睡眠不足だが興奮している。圏央道・中央道の渋滞にハマる。しかし車中で HY さんの貴重な山話を沢山聞いた。予定より大分遅れて談合坂 SA で OT さん、SD さんと合流。車2台で一緒に目的地へ。

途中地図のコピーの為コンビニを探す。運よくローソンが現れた。しかし葡萄畑や山の緑が美しい、とてもいい場所だ。こんなところで、いつか住みたい。ローソンの駐車場で背伸びをしながら思った。

さて、西沢溪谷の無料駐車場も、到着した頃にはほぼ一杯だった。

今日は天気も良いし人の出も多い。何とか隙間を見つけて2台をねじ込み、支度する。

私と SD さんはちょっとお先に入渓点のヌク沢橋迄進み、そこで準備。新品のハーネスやカラビナを装着。直ぐに支度済みのお二人が来て、さあ沢へ、という時は10時過ぎ。

沢は、期待を裏切らなかった。これぞ私が求めていたもの。とても楽しい。

水はまだ冷たかったが、ナメや小滝をどんどん越える。ロープを出してもらって滝を横切り、びしょびしょになって「これ！これ！」と一人悦に入る。難しそうな滝を大高巻きし終わった処でお昼になる。朝早くに沸かしたお湯ではカップヌードルもアルデンテに仕上がる。でも美味しい。しかし、どうやら相当時間が押してきているらしい。先輩方から下山時間を心配する声

が聞こえます。家で作ってきた爆弾おにぎりも食ったし、大丈夫、さあ、午後も頑張ろう。

ところが、私は甘かった。当然だが、沢は徐々に傾斜がきつくなるのだ、ええーっ。倒木も多く、くぐったり跨いだり、結構体力を使う。水の流れも次第に細くなる。爽快感は高度と共に、確実に疲労感に変わる。まだか、まだかと思いながら16時頃に奥の二俣に到着。本来は右沢に向かうところ、時間が無くなり左沢に変更する。



そして、ポタッ、ポタッ、と沢の水が滴った後は、私にとって地獄の様な時間となった。急傾斜。不安定な足場。頼りにした石や根っこがスルッと私の体重を逃がす。10歩程登っただけで息が上がる。皆さんに遅れを取り申し訳無いと思うが体が動かない。何度となく、「ココヘリ使いたいな…」と、正直思った。SDさんがそっと優しく見守ってくれる。

徳ちゃん新道に詰め上がったのは18時近く。沢装備を外して下山開始。初めてヘッドランプを使う。木の切り株が佇む女子高生達に見える。ヤバイ。下りつて幸せだ、とだけ考えながら重力に任せて足を動かす。甲武信ヶ岳登山口には20時過ぎ到着。無事下れた。

来る時に「なんて綺麗なんだ」と思った景色はもう闇の中である。今度は星が綺麗に見える。帰りは、翌日 山中湖を走って一周するというHYさんと別れ、OTさんの車に乗せてもらった。めん丸というラーメン屋でみそこってりラーメンとやらを頂く。平地の良さがにんにく入りスープと共に身に沁みる。だが、沢登りしたからこそ有難さである。今はそれが良くわかる。帰りの道はとても空いていた、多分。あつという間だった。後部座席で寝てしまったから。運転して頂いたSDさん、本当にごめんなさい。寝てすっかり元気になり、また沢に行きたいなと思う。  
(記:NO)

CT: 西沢溪谷駐車場 10:00-入溪 10:30-近丸新道横断地点 12:50-奥の二俣 15:55-徳ちゃん新道(詰上り) 17:45-甲武信ヶ岳登山口 20:17-西沢溪谷駐車場 20:40

